

琉球大学 日本語教育シンポジウム

沖縄から始まる持続可能な共生社会 —“誰ひとり取り残さない”時代を見据えて—

日時 2022年3月21日(月)10:00~17:00

会場 ユインチホテル南城／参加費 1,000円

プログラム

第一部 講演

「“誰ひとり取り残さない”ために、わたしたちができること
—社会・ひと・ことばをむすぶ実践より—
講師:松尾 慎(東京女子大学)

第二部 パネルディスカッション

「地域社会と留学生をむすぶ—そのしかけづくりを考える—」
話題提供:南城×琉大インバウンド活性WG
石澤 徹(東京外国語大学, 司会)／伊東 克洋(東京外国語大学)
佐久間 みのり(横浜デザイン学院)／中井 好男(大阪大学)
春口 淳一(大阪産業大学)／吉川 達(佐賀大学)

※シンポジウム終了後、凡人社による書籍販売あり
※全プログラムのご参加には、
20日沖縄入り、22日以降沖縄発をお勧めします

沖縄県南城市での
現地開催です

♥車がなくても、取り残されません♥
那覇から路線バス(案内裏面)があります



お申込み <https://peatix.com/event/3158902>

お問い合わせ 山元淑乃(琉球大学 ysn@lab.u-ryukyu.ac.jp)／主催 琉球大学国際教育センター／協力 イーストホームタウン沖縄株式会社



講師紹介 松尾 慎

専門は、日本語教育、多元文化教育など。ブラジル、インドネシア、台湾で日本語教育に携わり、2009年より東京女子大学に勤務。2014年、ミャンマー出身難民当事者とともに難民の日本語教室・活動(Villa Education Center)を立ち上げ、毎週日曜日、大学院生や修了生、学部生とともに活動を継続。先日327回目を達成した。今後は多文化が進む日本社会の中で(研究者だけが利益を得るような)搾取的研究をできる限り回避しつつ何らかの貢献をしていきたいと考えている。

今回の講演では、「"誰ひとり取り残さない"ために、わたしたちができること」というテーマのもと、関わってきたいくつかの実践に関しその内容と思いを紹介し、来場者とともに対話をしながら、「わたしたちができること」に関し、考えていきたいと思います。

パネルディスカッションでは、日本各地で行われている地域社会と留学生をむすぶ様々な取り組みをはじめ、留学生受け入れの現状や課題を紹介し、アフターコロナの外国人と地域社会の共生のあり方を議論します。



パネル企画・司会 石澤 徹

3月21日(月)路線バス案内

那覇バスターミナル(のりば6) 39番

8:10 那覇バスターミナル → 8:55 南城市役所着 ¥660

那覇バスターミナル(のりば7) 37番

8時38分発 → 9時24分 南城市役所着 ¥660